

# natusobiku journal

Month 07

July 2018

Curtain, Rug, Cushion, Lighting,  
Apron, Bedlinen, and more...  
all natural. feel cozy life!

「natusobiku journal」は日々の活動内容や想い、心地よい暮らしづくりのためのヒントをパートナーの皆様へお伝えするための情報誌です。



Featured  
this month

茨城県守谷市 N様邸  
戸建住宅

ドレープ：ハクロ 01 生成 × しろー フラットスタイル / レース：ユラギ 01 淡白 フラットスタイル



2階のホールから見下ろす  
温かみを感じるリビング空間



ドレーキップ窓の特殊な開閉  
に対応したカーテン設置

やさしい木漏れ日が差し込む、木々の中に佇む自然豊かなログハウス。北欧パイン材のログ壁と床、LDKには薪ストーブが据えられた家族が集まる団らんの空間。断熱性や気密性に優れた北欧住宅は日本の気候風土にも適合し、感覚的にも私たちの暮らしに寄り添います。

開放的なLDKには亜麻色と白色系が織り成すヘリンボーンに、起毛を施した温もりを感じる麻のカーテンをお選び頂きました。抜群の手触りは夏の印象が強い麻のイメージを変え、四季を通して活躍する素材だという事を改めて感じさせてくれます。

## MONTHLY CONTENTS

## 伝えたいこと

## Works

## ■ 麻のカーテンで間仕切り

マンションのリフォームでお部屋の間仕切りをいたしました。今回のコーディネーターは千葉の空間デザイナー「Cocayo DESIGN LAB」様です。natsusobikuの麻の生地が持つ素材感や空気感を気に入って頂き、開放的な部屋をゆるやかに仕切り個室空間を演出しました。



程よい透け感の「スズカゼ」3色キリカエ。比率を等間隔にすることも多いですが、今回は視界に入る高さを白色として下部に50cmずつのキリカエでアクセントとしました。間仕切りなのでカーテンの近くに立つシーンも多く、目線の高さを白色とすることで空間を広く見せるねらいもありました。壁には房掛けを付けず、マグネットタッセルで自在にスタイリングできるようにしました。同じ空間にある収納棚は扉を外し、こちらも麻で仕切って統一感を生んでいます。



## ■ パートナーショップ様の紹介

natsusobikuの麻のカーテンを、取り扱いして頂いているショップをご紹介します。今回は群馬県高崎市にあるカーテントレド様。多彩な品揃えのカーテンが並び、プランナーの常駐している地域に根差した窓装飾の専門店です。現在は natsusobikuの麻のカーテンを全点、縫製サンプルの形で展示して頂いております。一般の方や



地域の住宅設計・工務店さまのモデルハウスにも採用して頂いたり、麻の素材の特性にも理解を頂き専門店ならではの提案をしてくださいます。広々とした開放的な

店舗にあるカーテンの見本は10,000点という、国内でも最大規模のショールームとなっています。そんな豊富な商品の中から自然素材といえば natsusobikuの麻のカーテン、とご紹介いただけていることを、嬉しく思っています。群馬県で麻・リネン素材のカーテンをお探しの方は是非カーテントレド様にご相談ください。

## Information

本誌「夏そびくジャーナル」のバックナンバーをご覧ください。

<http://www.natsusobiku.jp/journal>

当社 HP に掲載をご希望のショップさまはお知らせください。現在、取り扱い店さまのご紹介ページのリニューアルを予定しております。

<http://www.natsusobiku.jp/store>

いろんなものを平面化して薄っぺらにしちゃう技法は、もともと日本人が得意とする技法です。生の側の力と死の側の力で圧縮されて、インターフェイスにごく薄い平面ができる。その平面上で表現する。日本のデザインってこれがものすごくうまいんですよね。いま日本文化が世界中に影響を与えているものって、マンガやアニメにしる、建築デザインにしる、このやり方をすごく洗練してるんです。

—芸術人類学者・中沢新一さんが著書「日本の文脈」のなかで

Cotowari Design Inc. 千葉県千葉市緑区誉田町1-297-3

tel: 043(310)7975 fax: 043(310)7976 mail: info@cotowari-design.com

■事業内容 天然繊維のファブリック企画・製作・販売 / インテリアコーディネート/テキスタイル・広告デザイン制作